



プロフィール マネージャの使用法

この章では、ADU のプロフィール マネージャ機能を使用してクライアント アダプタのプロフィールを作成および管理する方法について説明します。

この章では、次の項目について説明します。

- [プロフィール マネージャの概要 \(P. 4-2\)](#)
- [プロフィール マネージャの開始 \(P. 4-2\)](#)
- [プロフィールの新規作成 \(P. 4-5\)](#)
- [自動プロフィール選択へのプロフィールの追加 \(P. 4-9\)](#)
- [アクティブプロフィールの選択 \(P. 4-11\)](#)
- [プロフィールの修正 \(P. 4-13\)](#)
- [プロフィールのインポートとエクスポート \(P. 4-14\)](#)

プロファイル マネージャの概要

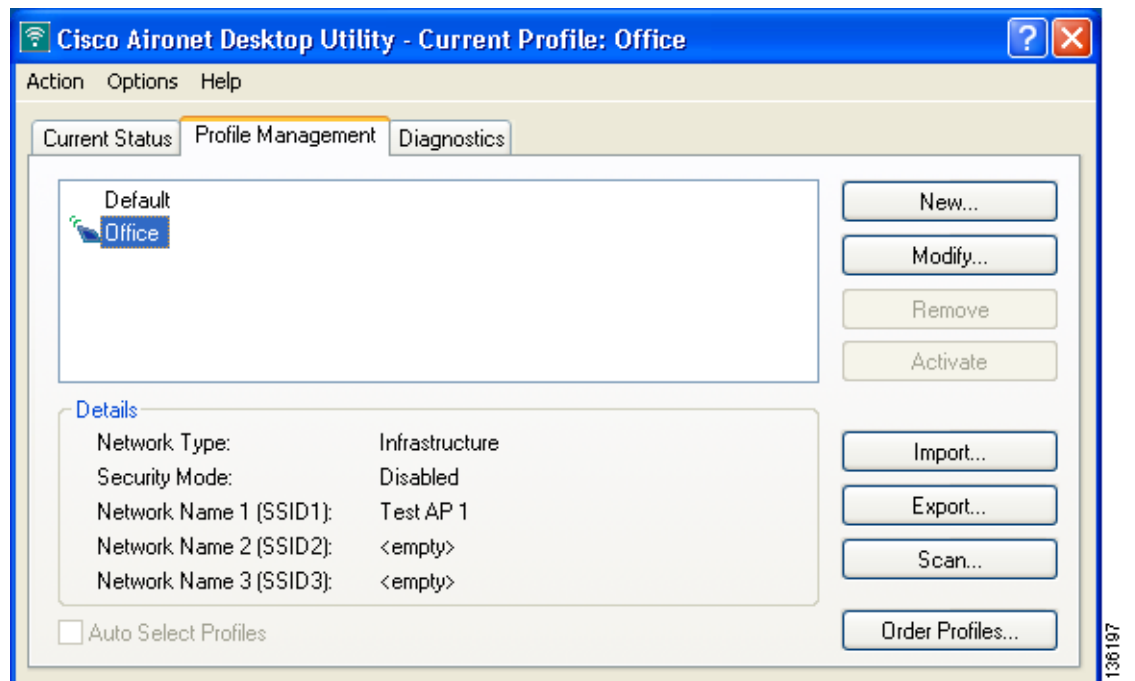
ADU のプロファイル マネージャ機能を使用することで、クライアント アダプタに対して最大 16 個のプロファイル (保存済みの設定) を作成し、管理できます。これらのプロファイルを使用すると、異なる設定情報が必要なさまざまな場所でクライアント アダプタを使用できます。たとえば、クライアント アダプタを会社、自宅、および空港などの公共エリアで使用するためにプロファイルを設定できます。プロファイルを作成しておけば、それらを簡単に切り替えることができるので、新たな場所に行くたびにクライアント アダプタを設定し直す必要がありません。

プロファイルはレジストリに格納され、クライアント アダプタのソフトウェアをアンインストールすると消失します。プロファイルの消失を防ぐため、プロファイル マネージャのインポートおよびエクスポート機能を使用してプロファイルをバックアップすることをお勧めします。詳細は、「[プロファイルのインポートとエクスポート](#)」の項 (P.4-14) を参照してください。

プロファイル マネージャの開始

- ステップ 1** ADU プロファイル マネージャを開くには、デスクトップ上の **Aironet Desktop Utility** アイコンをダブルクリックします。
- ステップ 2** **Profile Management** タブをクリックします。Cisco Aironet Desktop Utility (Profile Management) ウィンドウが表示されます (図 4-1 を参照)。

図 4-1 Cisco Aironet Desktop Utility (Profile Management) ウィンドウ





(注) プロファイル マネージャ機能によって、デフォルト値を使用するために設定するデフォルト プロファイルを使用できます。このプロファイルは *Default* という名前で、Cisco Aironet Desktop Utility (Profile Management) ウィンドウのプロファイル リストに表示されます。このプロファイルは、ダブルクリックしてそのまま使用するか、「[プロファイルの修正](#)」の項 (P.4-13) の手順に従って変更することができます。

表 4-1 は、Cisco Aironet Desktop Utility (Profile Management) ウィンドウのステータス フィールドについて説明したものです。

表 4-1 Profile Management ウィンドウのステータス フィールドの説明

フィールド	説明
Network Type	<p>選択したプロファイルに対して設定されるネットワークのタイプ</p> <p>値： Infrastructure または Ad Hoc</p> <p> (注) ネットワーク タイプの設定方法については、表 5-3 の Network Type パラメータを参照してください。</p>
Security Mode	<p>選択したプロファイルに対して設定されるセキュリティのタイプ</p> <p>値： None、Pre-Shared Key、WPA/WPA2 Passphrase、LEAP、EAP-FAST、EAP-TLS、PEAP (EAP-GTC)、PEAP (EAP-MSCHAP V2)、Host Based EAP</p> <p> (注) クライアント アダプタのセキュリティ設定手順については、第 5 章を参照してください。</p>
Network Name 1 (SSID1)	<p>Service Set Identifier (SSID; サービス セット ID) は、選択したプロファイルに対して設定する無線ネットワークです。</p> <p> (注) SSID1 の設定手順については、表 5-2 の SSID1 パラメータを参照してください。</p>
Network Name 2 (SSID2)	<p>選択したプロファイルに対して設定されるオプションの SSID。2 つ目の別のネットワークを識別し、クライアント アダプタを再設定しなくても、そのネットワークに接続およびローミングできるようにします。</p> <p> (注) SSID2 の設定手順については、表 5-2 の SSID2 パラメータを参照してください。</p>
Network Name 3 (SSID3)	<p>選択したプロファイルに対して設定されるオプションの SSID。3 つ目の別のネットワークを識別し、クライアント アダプタを再設定しなくても、そのネットワークに接続およびローミングできるようにします。</p> <p> (注) SSID3 の設定手順については、表 5-2 の SSID3 パラメータを参照してください。</p>

■ プロファイル マネージャの開始

プロファイル マネージャを使用すると、プロファイルの管理に関連する次のタスクを実行できます。

- プロファイルの新規作成 (P. 4-5 を参照)
- 自動プロファイル選択にプロファイルを追加 (P. 4-9 を参照)
- アクティブ プロファイルの選択 (P. 4-11 を参照)
- プロファイルの編集 (P. 4-13 を参照)
- プロファイルの削除 (P. 4-13 を参照)
- プロファイルのインポート (P. 4-14 を参照)
- プロファイルのエクスポート (P. 4-15 を参照)

上記のページを参照して、必要なタスクを実行してください。



(注)

システム管理者が管理ツールを使用して特定のパラメータを無効にしている場合、これらのパラメータは無効になっているので、選択できません。

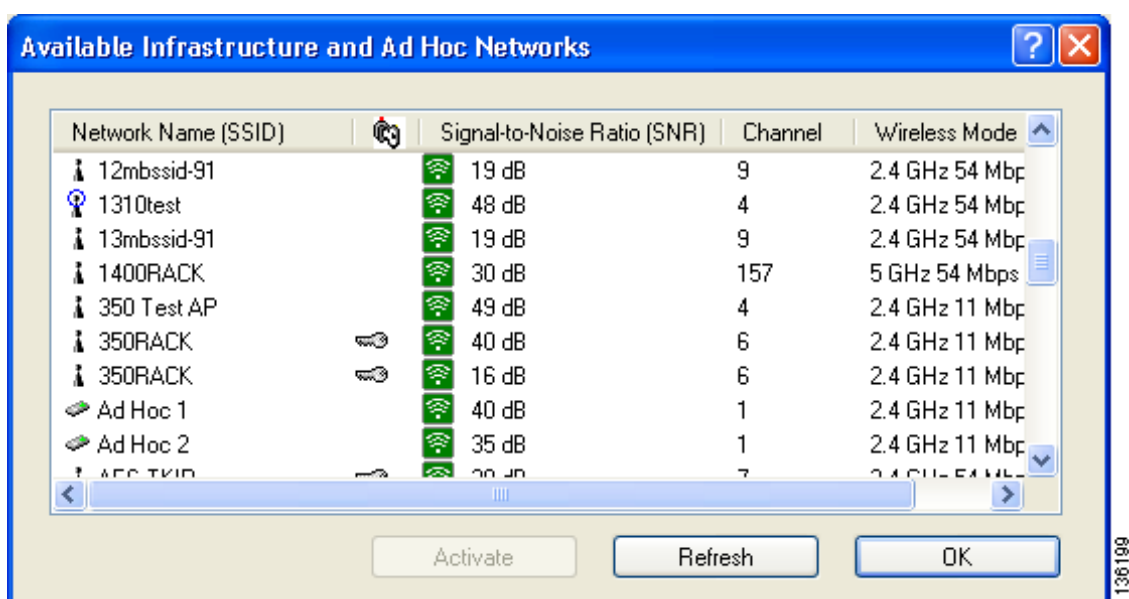
プロファイルの新規作成

プロファイルを新規作成する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 次のいずれかを実行します。

- 新規にプロファイルを作成する場合は、Cisco Aironet Desktop Utility (Profile Management) ウィンドウで **New** をクリックします。次に**ステップ 4**に進みます。
- 使用可能なネットワークを見つけ、それを基にプロファイルを作成する場合は、Cisco Aironet Desktop Utility (Profile Management) ウィンドウで **Scan** をクリックします。Available Infrastructure and Ad Hoc Networks ウィンドウが表示されます (図 4-2 を参照)。

図 4-2 Available Infrastructure and Ad Hoc Networks ウィンドウ



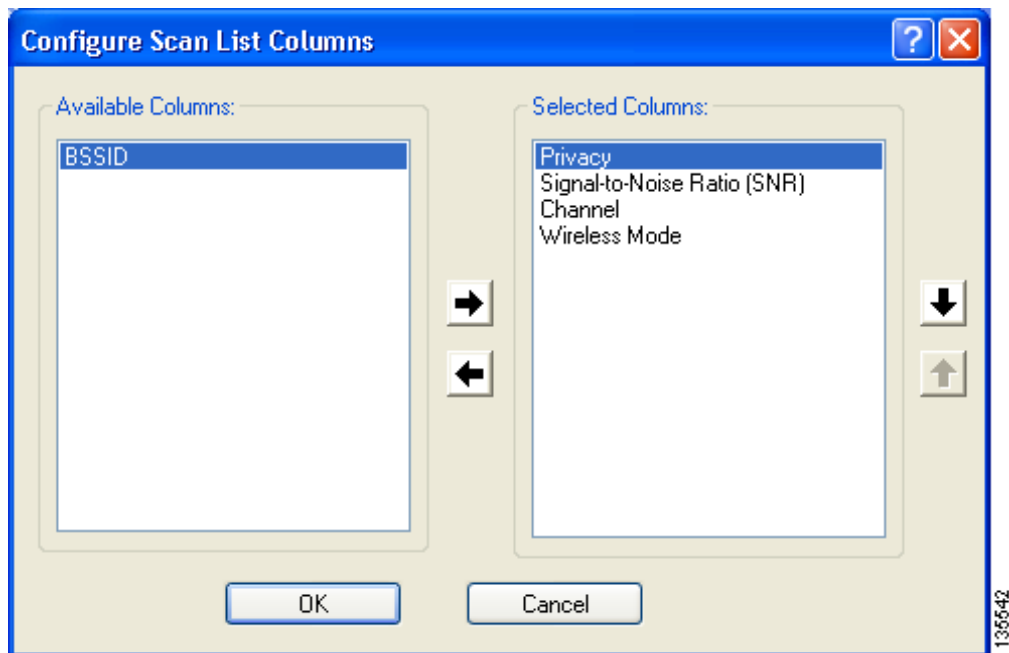
このウィンドウには使用可能なすべてのネットワークが表示されます。ウィンドウを最新の状態に更新して、使用可能なネットワークのリストを更新する場合は、**Refresh** ボタンをクリックします。



(注) Guest Mode SSID が有効になっているか、Beacon オプションの Broadcast SSID を選択している場合は、Cisco IOS アクセス ポイントの SSID が使用可能なネットワーク一覧に表示されます。詳細は、アクセス ポイントのソフトウェア設定ガイドを参照してください。

表 4-2 は、Available Infrastructure and Ad Hoc Networks ウィンドウのデフォルトフィールドについて説明したものです。その他のフィールドを表示可能にするには、Options ドロップダウンメニューから **Scan List Settings** を選択します。Configure Scan List Columns ウィンドウが表示されます (図 4-3 を参照)。

図 4-3 Configure Scan List Columns ウィンドウ



Available Infrastructure and Ad Hoc Networks ウィンドウに表示可能なすべてのフィールドが Available Columns ボックスに表示されます。表示するフィールドを強調表示し、右矢印をクリックして Selected Columns ボックスに移動します。左矢印を使用して不必要なフィールドを Selected Columns ボックスから Available Columns ボックスに移動したり、上および下矢印を使用してフィールドが Available Infrastructure and Ad Hoc Networks ウィンドウに表示される順序を変更できます。OK をクリックして、変更を保存します。

表 4-2 Available Infrastructure and Ad Hoc Networks ウィンドウのフィールドの説明
















フィールド	説明										
Network Name (SSID)	Service Set Identifier (SSID; サービスセット ID) は、使用可能な無線ネットワークの名前を示しています。SSID の左側のアイコンは、ネットワークタイプとリンクステータスに関する情報を示しています。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>アイコン</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>使用可能なインフラストラクチャネットワーク</td> </tr> <tr> <td></td> <td>クライアントアダプタが現在アソシエートしているインフラストラクチャネットワーク</td> </tr> <tr> <td></td> <td>使用可能なアドホックネットワーク</td> </tr> <tr> <td></td> <td>クライアントアダプタが現在アソシエートしているアドホックネットワーク</td> </tr> </tbody> </table>	アイコン	説明		使用可能なインフラストラクチャネットワーク		クライアントアダプタが現在アソシエートしているインフラストラクチャネットワーク		使用可能なアドホックネットワーク		クライアントアダプタが現在アソシエートしているアドホックネットワーク
アイコン	説明										
	使用可能なインフラストラクチャネットワーク										
	クライアントアダプタが現在アソシエートしているインフラストラクチャネットワーク										
	使用可能なアドホックネットワーク										
	クライアントアダプタが現在アソシエートしているアドホックネットワーク										
キーアイコン 	キーアイコンの表示された SSID は、セキュリティ保護されたネットワークとしてアドバタイズされます。										

表 4-2 Available Infrastructure and Ad Hoc Networks ウィンドウのフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Signal-to-Noise Ratio (SNR)	<p>信号の強度と現在のノイズ レベルの差。値が大きいほど、クライアント アダプタのアクセス ポイントとの通信能力が上がります。</p> <p> (注) このパラメータのアイコンの色は、信号対雑音比 (SNR) を視覚的に示しています (Excellent または Good (緑色)、Fair (黄色)、Poor (赤))。</p> <p> (注) 信号対雑音比は、Display Settings ウィンドウで Signal Strength Display Units パラメータに選択された値に応じて、デシベル (dB) またはパーセント (%) のどちらかで表示されます。詳細は、「ADU のステータスと統計情報ツールに影響するパラメータの設定」の項 (P.7-2) を参照してください。</p>
Channel	アクセス ポイント (インフラストラクチャ モードの場合) または他のクライアント (アドホック モードの場合) が通信に使用しているチャンネル。
Wireless Mode	パケットの送受信のためのアクセス ポイント (インフラストラクチャ モードの場合) または他のクライアント (アドホック モードの場合) の設定周波数およびレート。
BSSID	Basic Service Set Identifier (BSSID) は、アクセス ポイントの MAC アドレスです。

ステップ 2 使用可能なネットワークのリスト全体が表示されるようにスクロール ダウンします。

ステップ 3 クライアント アダプタをアソシエートするネットワークの SSID をクリックして、**Activate** をクリックします。



(注) SSID が空白の場合、ネットワークをアクティブ化できません。

ステップ 4 Profile Management (General) ウィンドウが表示されたら (図 4-4 を参照)、Profile Name フィールドに新しいプロファイルの名前 (Office、Home など) を入力します。

図 4-4 Profile Management (General) ウィンドウ



(注) 使用可能なネットワークをスキャンした後にプロファイルを作成している場合は、SSID1 フィールドにネットワークの SSID が表示されます。

ステップ 5 次のいずれかを実行します。

- このプロファイルにデフォルト値を使用する場合は、**OK** をクリックします。このプロファイルは、Cisco Aironet Desktop Utility (Profile Management) ウィンドウのプロファイル リストに追加されます。
- 設定パラメータの設定を変更する場合は、**第 5 章**の手順に従ってください。このプロファイルは、Cisco Aironet Desktop Utility (Profile Management) ウィンドウのプロファイル リストに追加されます。



(注) CardBus PC カードのプロファイルは、カードを挿入したスロットに関連付けられます。したがって、CardBus PC カードを常に同じスロットに挿入するか、両方のスロットでプロファイルを作成するか、一方のスロットからプロファイルをエクスポートして他方のスロットにインポートします。

ステップ 6 「自動プロファイル選択へのプロファイルの追加」の項 (P.4-9) に進んでプロファイルを自動的に選択できるようにするか、「アクティブ プロファイルの選択」の項 (P.4-11) に進んでプロファイルをアクティブにします。

自動プロファイル選択へのプロファイルの追加

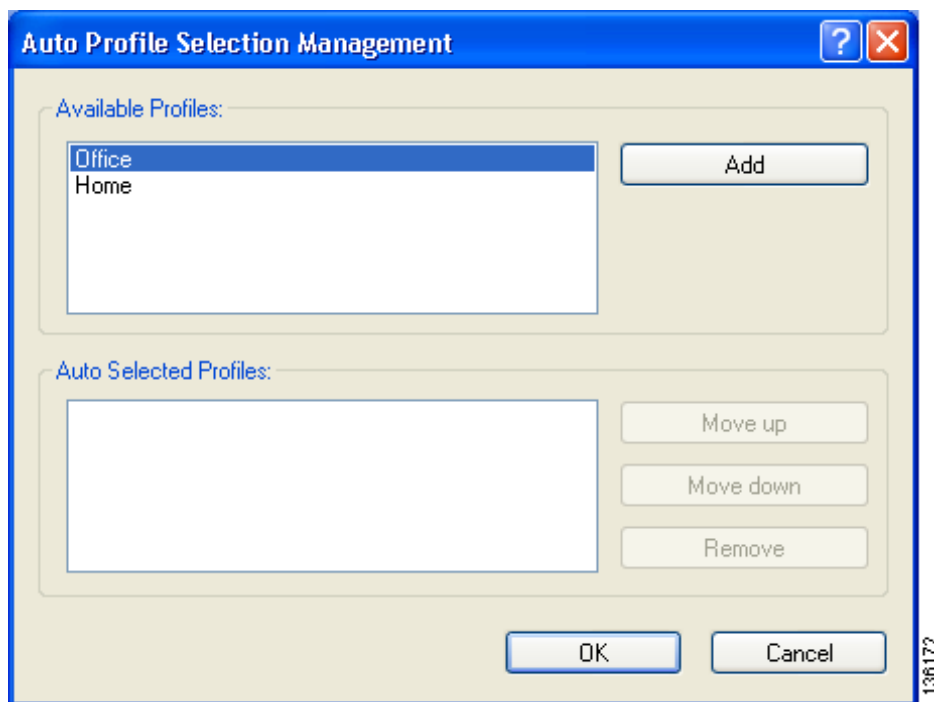
クライアント アダプタにプロファイルを作成した後、プロファイル マネージャの自動プロファイル選択機能にそれらのプロファイルを追加できます。自動プロファイル選択が有効になっている場合、クライアントアダプタは自動プロファイル選択に入っているプロファイルのリストから自動的にプロファイルを選択し、それを使用してネットワークとの接続を設定します。

作成したプロファイルを自動プロファイル選択に追加し、プロファイルが選択される順序を設定する手順は次のとおりです。

ステップ 1 ADU を開いて、**Profile Management** タブをクリックします。

ステップ 2 **Order Profiles** をクリックします。Auto Profile Selection Management ウィンドウが表示されます (図 4-5 を参照)。

図 4-5 Auto Profile Selection Management ウィンドウ



ステップ 3 作成したプロファイルは、Available Profiles ボックスに表示されます。自動プロファイル選択に追加するプロファイルをそれぞれハイライトし、**Add** ボタンをクリックします。プロファイルが Auto Selected Profiles ボックスに表示されます。

自動プロファイル選択には、次の規則が適用されます。

- Auto Selected Profiles ボックスには、少なくとも2つのファイルが入っていなければなりません。
- プロファイルは SSID を指定する必要があります。SSID を指定しないと、Available Profiles ボックスには表示されません。
- プロファイルは複数の SSID を指定できません。複数の SSID を指定すると、Available Profiles ボックスにそのプロファイルが表示されなくなります。

■ 自動プロファイル選択へのプロファイルの追加

- 自動プロファイル選択に表示されるプロファイルは、それぞれ固有の SSID を持っていなければなりません。
例：Profile A と Profile B の SSID がいずれも「ABCD」である場合、Profile A と Profile B のいずれか（先に作成された方）が Available Profiles ボックスに表示され、自動プロファイル選択に追加できます。



(注) 自動プロファイル選択からプロファイルを削除するには、Auto Selected Profiles ボックスでプロファイルを選択し、**Remove** をクリックします。プロファイルが Auto Selected Profiles ボックスから削除されます。

ステップ 4 Auto Selected Profiles ボックスの先頭のプロファイルが最も優先順位が高く、最後のプロファイルの優先順位が最も低くなります。自動選択プロファイルの順序（および優先順位）を変更する場合は、移動するプロファイルを選択し、**Move up** または **Move down** をクリックしてプロファイルを上または下に移動します。

ステップ 5 **OK** をクリックして、変更を保存します。

自動プロファイル選択が有効になっている（詳細は「[アクティブ プロファイルの選択](#)」の項 (P.4-11) を参照）と、クライアントアダプタは使用可能なネットワークをスキャンします。優先順位が最も高く、見つかったネットワークと同じ SSID を持つプロファイルが、ネットワークとの接続に使用されます。接続が失敗した場合、クライアントアダプタは、ネットワークと一致する SSID を持ち、優先順位が次に高いプロファイルを使って接続を試みます。接続が成功するまでこれが繰り返されます。



(注) 自動プロファイル選択を有効にすると、クライアントアダプタは使用可能なネットワークを検出するために、自動プロファイル選択リストのすべてのプロファイルで指定されている無線モードをスキャンします。ADU Profile Management (Advanced) ウィンドウで設定した選択プロファイルの無線モード設定については無視されます。この方法では、他のプロファイルのネットワークを検出する際に、クライアントはアソシエーションを解除したり現在のプロファイルを変更したりする必要がありません。

ステップ 6 自動プロファイル選択を有効にするには、「[アクティブ プロファイルの選択](#)」の項 (P.4-11) に進みます。

アクティブ プロファイルの選択

クライアント アダプタで使用するプロファイルを指定する手順は、次のとおりです。



(注)

ADU のプロファイル マネージャではなく ASTU を使用してアクティブなプロファイルを選択できます。手順については、第8章を参照してください。

ステップ 1 ADU を開いて、**Profile Management** タブをクリックします。Cisco Aironet Desktop Utility (Profile Management) ウィンドウが表示されます (図 4-1 を参照)。

ステップ 2 次のいずれかを実行します。

- プロファイル リストでプロファイルをダブルクリックするか、プロファイル リストでプロファイルをクリックしてから **Activate** をクリックすることで、使用するクライアント アダプタのプロファイルを選択します。

選択されたプロファイルを使用して、アクセス ポイント (インフラストラクチャ モードの場合) または他のクライアント (アドホック モードの場合) へのアソシエート (または接続の確立) に失敗したり、アソシエーションが失われたりした場合でも、クライアント アダプタは別のプロファイルを使用してアソシエートすることはありません。アソシエートするには、別のプロファイルを選択するか、自動プロファイル選択を有効にする必要があります。

- Auto Select Profiles** チェックボックスをオンにすることで、自動プロファイル選択を有効にします。

このオプションによって、クライアント アダプタのドライバは、自動プロファイル選択に追加されるように設定されたプロファイルのリストからプロファイルを選択するようになります。

クライアント アダプタのアソシエーションが失われている時間が 10 秒間 (LEAP/EAP-FAST が有効な場合は、LEAP/EAP-FAST Settings ウィンドウの LEAP/EAP-FAST 認証タイムアウト値で指定された時間) を超えると、ドライバは、自動プロファイル選択に含まれている別のプロファイルに自動的に切り替えます。アダプタは、アクセス ポイントにアソシエートされている間、または 10 秒以内 (または LEAP/EAP-FAST 認証タイムアウト値で指定された時間内) に再アソシエートした場合は、プロファイルを切り替えません。クライアント アダプタを、強制的に別のアクセス ポイント (インフラストラクチャ モードの場合) または他のクライアント (アドホック モードの場合) にアソシエートするには、**Auto Select Profiles** チェックボックスをオフにして、プロファイル リストから新しいプロファイルを選択する必要があります。



(注)

このオプションが使用できるのは、自動プロファイル選択に複数のプロファイルが含まれている場合だけです。



(注)

自動プロファイル選択を LEAP または EAP-FAST とともに使用する場合は、ログイン スクリプトは信頼性に欠けます。コンピュータにログインする前またはそれと同時に認証を実行し、完全なネットワーク接続性を取得する場合には、ログイン スクリプトが実行されます。しかし、コンピュータにログインした後に認証を実行し、完全なネットワーク接続性を取得する場合には、ログイン スクリプトは実行されません。

- Scan** をクリックします。Available Infrastructure and Ad Hoc Networks ウィンドウが表示されます (図 4-2 を参照)。プロファイルのいずれかで使用されるネットワークの SSID をダブルクリックして、**OK** をクリックします。

■ アクティブ プロファイルの選択

クライアント アダプタは、ここで選択したオプションに従ってプロファイルの使用を開始します。プロファイル リスト内では次のアイコンによってアクティブ プロファイルが表されます。



プロファイルの修正

次に示す各項の手順に従って、既存のプロファイルを編集または削除します。

プロファイルの編集

-
- ステップ 1** ADU を開いて、**Profile Management** タブをクリックします。Cisco Aironet Desktop Utility (Profile Management) ウィンドウが表示されます (図 4-1 を参照)。
 - ステップ 2** プロファイル リストで、編集するプロファイルを選択します。
 - ステップ 3** **Modify** をクリックします。
 - ステップ 4** 第 5 章の手順に従って、このプロファイルの設定パラメータを変更します。
-

プロファイルの削除

-
- ステップ 1** ADU を開いて、**Profile Management** タブをクリックします。Cisco Aironet Desktop Utility (Profile Management) ウィンドウが表示されます (図 4-1 を参照)。
 - ステップ 2** プロファイル リストで、削除するプロファイルを選択します。



(注) アクティブ プロファイルは削除できません。

- ステップ 3** **Remove** をクリックします。プロファイルが削除されます。
-

プロファイルのインポートとエクスポート

この項では、プロファイルをインポートおよびエクスポートする手順について説明します。インポートおよびエクスポート機能は、次のような場合に必要になります。

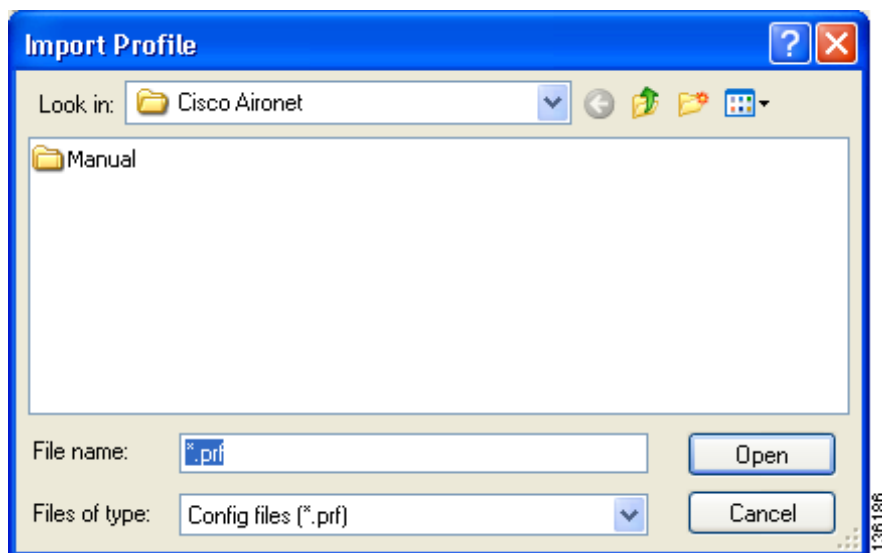
- クライアントアダプタソフトウェアをアンインストールする前に、プロファイルをバックアップする。
- ある CardBus スロットの CardBus PC カードのプロファイルをエクスポートし、他の CardBus スロットで使用できるようにインポートする。
- 別のコンピュータのプロファイルを自分のコンピュータに設定する。
- 自分のプロファイルをエクスポートして別のコンピュータに設定する。

次のページの手順に従って、プロファイルをインポートまたはエクスポートします。

プロファイルのインポート

- ステップ 1** インポートするプロファイルがフロッピーディスクに保存されている場合は、そのディスクをコンピュータのフロッピーディスク ドライブに挿入します。
- ステップ 2** ADU を開いて、**Profile Management** タブをクリックします。Cisco Aironet Desktop Utility (Profile Management) ウィンドウが表示されます (図 4-1 を参照)。
- ステップ 3** **Import** をクリックします。Import Profile ウィンドウが表示されます (図 4-6 を参照)。

図 4-6 Import Profile ウィンドウ



- ステップ 4** Look in ドロップダウン ボックスで、プロファイルの含まれるディレクトリを探します。
- ステップ 5** インポートするプロファイルを選択すると、ウィンドウ下部の File name ボックスにそのファイル名が表示されます。

- ステップ 6** **Open** をクリックします。インポートされたプロファイルが、Cisco Aironet Desktop Utility (Profile Management) ウィンドウのプロファイルリストに表示されます。

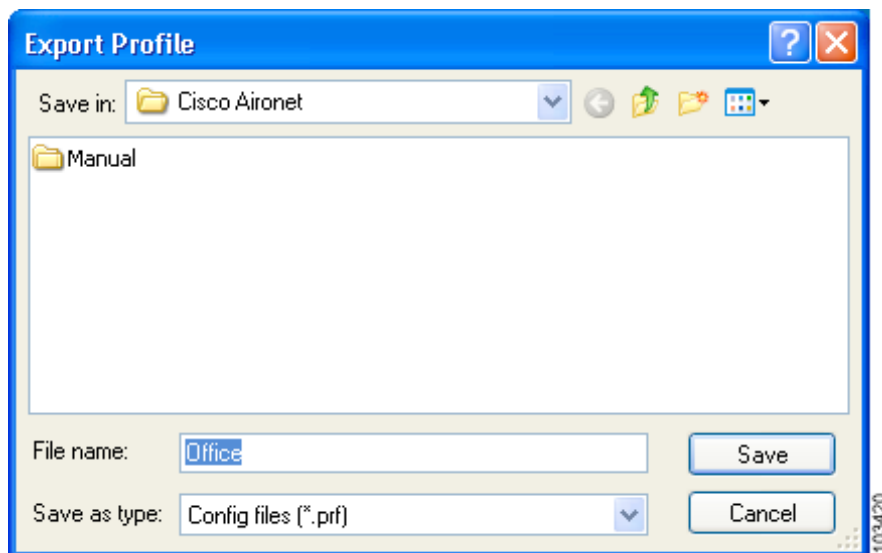
プロファイルのエクスポート



(注) PAC は EAP-FAST プロファイルとともにエクスポートされません。

- ステップ 1** プロファイルをフロッピーディスクにエクスポートする場合は、空のフロッピーディスクをコンピュータのフロッピーディスク ドライブに挿入します。
- ステップ 2** ADU を開いて、**Profile Management** タブをクリックします。Cisco Aironet Desktop Utility (Profile Management) ウィンドウが表示されます (図 4-1 を参照)。
- ステップ 3** プロファイル リストで、エクスポートするプロファイルを選択します。
- ステップ 4** **Export** をクリックします。Export Profile ウィンドウが表示されます (図 4-7 を参照)。

図 4-7 Export Profile ウィンドウ



File name ボックスにプロファイル名が表示されます。

- ステップ 5** コンピュータのフロッピーディスク ドライブやネットワーク上の場所などのディレクトリを **Save in** ドロップダウン ボックスで選択します。



(注) デフォルトの場所は、ADU のインストールされているディレクトリ (C:\Program Files\Cisco Aironet など) です。

■ プロファイルのインポートとエクスポート

ステップ 6 **Save** をクリックします。プロファイルが指定の場所にエクスポートされます。

ステップ 7 「[プロファイルのインポート](#)」の手順に従って、このプロファイルを別のコンピュータにインポートします。
